

神田駿河台地区熱供給センター

建物諸元

所在	東京都千代田区神田駿河台 3-11-1
主用途	熱供給施設
敷地面積	
延床面積	約 249,000 m ² (供給対象区域)
階数	
竣工年月	1988年4月
事業者・所有者	東京都市サービス株式会社
設計会社	
施工会社	
管理会社	東京都市サービス株式会社
URL	http://www.tts-kk.co.jp/
テナント数	

主な評価項目

I 一般管理事項

定期的なCO2削減会議でCO2削減対策を立案・実施

II 建物、設備性能に関する事項

蓄熱式ヒートポンプシステムの採用

蓄熱槽・変流量方式(ポンプのインバータ化など)

III 運用に関する事項

運転実績データを基に機器の効率分析を行い、適切な保守・運転管理を実施

事業所の概要

御茶ノ水駅前南側の約11haの地区において、「蓄熱式ヒートポンプシステム」を採用した連携する2箇所のプラントより熱供給を行い、文化と伝統のある大学キャンパス街の環境保全に貢献しています。

事業所における環境負荷低減の取組

1. 蓄熱式ヒートポンプシステムの採用

(1) 電力の負荷平準化

夜間電力を利用して製造した熱を蓄熱槽に蓄熱し、昼間に供給することで電力負荷の大きい昼間の熱源機運転を軽減しています。

(2) 熱源機の高効率運転

蓄熱槽の活用により熱源機の負荷率100%前後の安定した高効率運転を行っています。



供給区域